



小平市のまちづくり、住民参加で 初めての住民投票に行きましょう!



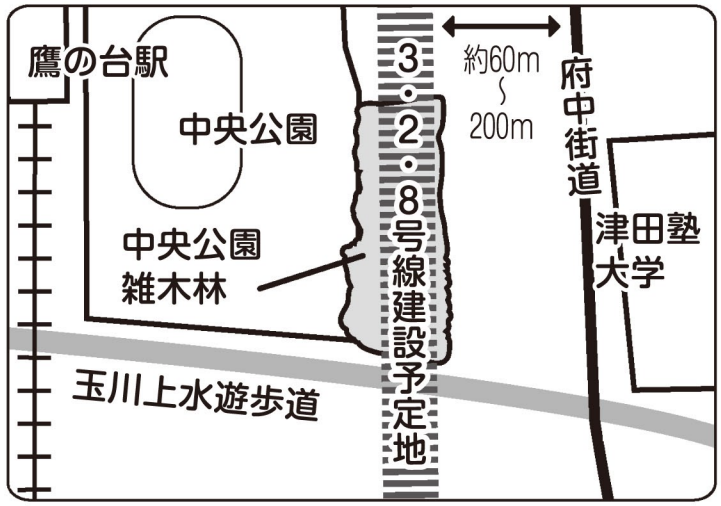
50年前の計画で いいのでしょうか?

「小平都市計画道路3・2・8号線」は、府中から東村山に至る東京都の都市計画道路の小平部分です。五日市街道から青梅街道まで南北約1.4kmの区間で、幅36m・4車線の道路を総工費約250億円をかけて新設するという計画になっています(下図参照)。

東京都は、多摩地域における人とモノ(車)の動きの円滑化、府中街道の渋滞の緩和、緊急時の輸送路を確保することによる防災性・安全性の向上などを、道路の整備効果としてあげています。

確かに、広域の移動は便利になるでしょう。しかし、建設予定地では、玉川上水、小平中央公園、雑木林が一体となって水と緑あふれる豊かな環境をつくっています。この貴重な環境を壊さなければ、道路はできないのでしょうか。こんなに大きな道路は不要だという意見もあります。

今の計画通りに進めるのが、小平市にとって最善の選択なのか、再検討すべきではないでしょうか。



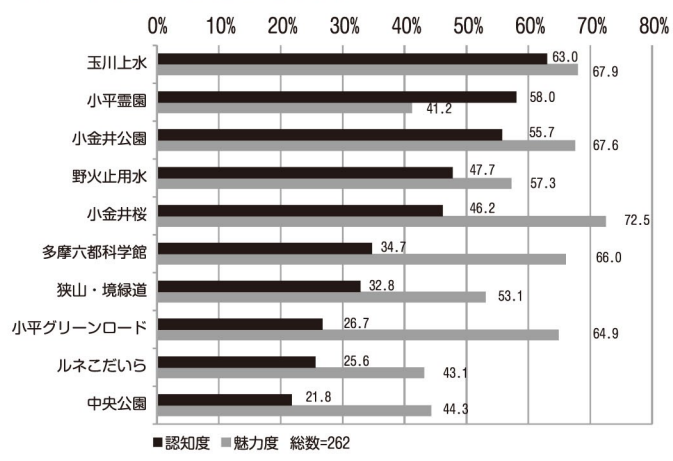
3・2・8号線建設予定地略図

府中街道と平行して西側60-200mに、玉川上水・雑木林を横切って新設される36m幅の広い道路。歩行者、特に高齢者の買い物や散歩などの移動は不便になるのではないのでしょうか。



小平市の魅力を 生かしたまちづくりを

小平市は、市外からも「多くの人に来てもらえるような、まちの魅力づくり」をめざして、「小平市観光まちづくり振興プラン」を検討しています。この中で、玉川上水は、市外居住者からの認知度、魅力度が共に高く、二つを総合すると、ナンバー1になっています。



「地域資源の認知度・魅力度」

出典：小平市観光まちづくり振興プラン(検討資料修正版) P16 より抜粋

また、玉川上水の小平市部分のなかでも、道路予定地を含む中央公園周辺は、「最も市民の利用が多いみどりの拠点」と位置づけられています(『小平市みどりの基本計画2010』)。

そこには玉川上水があり、連続する緑の塊として雑木林、小平中央公園があり、さまざまな植物や鳥類、昆虫類が生息し、子どもたちが遊び、おとなたちが憩う場となっています。周辺には、緑豊かな住宅地や果樹園が広がり、小平らしい水と緑の環境と暮らしがあります。

これこそ「都心に近いのにゆったりしたまち」という小平市のキーワードそのものであり、小平の豊かな未来をつくる資産ではないのでしょうか。この資産を守り育てるとき、町はもっと活性化し、豊かになると私たちは考えます。